

## グローバル COE 講演会報告書

大学院理学研究科 杉山 弘

研究集会名: グローバル COE 講演会

講演者: Professor Mateus Webba da Silva (University of Ulster, UK)

演題: “Formalism for DNA Quadruplex Topologies”

場 所: 京都大学理学研究科2号館第3講義室(130号室)

日 時: 2008年3月12日 16:00-18:00

参加者: 化学専攻 大学院学生、学部生、博士研究員、教員

参加者総数: 約20名

内容: DNA 1本鎖 DNA 中の4つのグアニンが水素結合を介して形成する G-quadruplex は、その興味深い立体構造とそれらの構造を認識するタンパクが存在していることが報告され、近年非常に注目を集めている。Mateus Webba da Silva 教授は、DNA 立体構造の解析研究で著名な研究者であり、DNA の特異な立体構造の解明を行い、最近では G-quadruplex について多く研究発表されている。

G-quadruplex の形成は遺伝子の発現制御の機構解明といった生物学的な発見にもつながる興味深い研究である。本講演会では、特にそれらスペクトル的な解析法の

講義と、最近の招聘者自身の研究内容を詳しく解説して頂いた。非常に厳密な化学的解析結果を基にした専門性の高い講演内容であった。加えて、化学研究を志向して海外へ渡航しようと望む学生達にとっても英語による議論の大切さと、研究意義を再確認させる教育的な講演が行われた。

講演後、時間をこえて活発な質疑応答が行われ、Silva 教授からも、学生へ英語で質問を問いかける場面もあり、議論も含め非常に有意義な講演となった。またディスカッションから、新しく共同研究が開始されることになった。

